タイトル	内容
授業科目	一般教養
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	就職試験に出題される一般常識対策を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	就職模擬試験に出題される知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	 数学①(数の計算・式の計算) 数学②(方程式・不等式) 数学③(関数とグラフ・整数値問題) 数学③(修確率・図形・文章題) 国語①(四字熟語・慣用句) 国語②(ことわざ・故事成語) 国語③(文法) 国語④(長文読解・文学史) 英語①(諸彙・基本熟語) 英語②(諸彙・基本熟語) 共会②(政治・経済) 社会③(日本史) 社会④(世界史) 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

技業科目 実務家教員技業	タイトル	内容
実務家教員授業	授業科目	適性検査演習
展修年次	実務家教員授業	
開高学期 前川 科目区分 老修 接来 表 談で 表 談で 表 談で 表 表 談で 表 表 表 表 表 表 表 表 表	学部・学科	情報処理科(1年制)
科目区分 接来 う 演習 技業コマ数 15 コマ 接来 の	履修年次	1年次
投業方法 議義・演習 2 2 2 2 2 2 2 2 2	開講学期	前期
授業中間 3 0 時間	科目区分	必修
授業原要 就職試験に出題される適性検査対策を行う 授業原要 就職適性試験に出題される適性検査対策を行う 接成目標 就職適性試験に出題される知識を身に付ける テキスト及び問題集 非言語初級① 非言語初級② 非言語初級② 非言語初級② 非言語初級③ 非言語初级③ 非言語初级③ 非言語和 1	授業方法	講義・演習
投業概要 就職試験に出題される適性検査対策を行う 投業の進め方 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る 就職適性試験に出題される知識を身に付ける 教科書 テキスト及び問題集 チ言語初級① 2 SPI対策問題集 非言語初級② 3 SPI対策問題集 非言語初級③ 4 SPI対策問題集 非言語初級④ 5 SPI対策問題集 非言語初級⑤ 6 SPI対策問題集 非言語初級⑤ 7 SPI対策問題集 非言語③ 9 SPI対策問題集 言語④ 5 SPI対策問題集 言語④ 5 SPI対策問題集 言語③ 5 SPI対策問題集 非言語③ 5 SPI対策問題集 非言語④ 5 SPI対策問題集 5 SPI対策 5 SPI対策問題集 5 SPI対策 5 SPI対策問題集 5 SPI対策 5 S	授業時間	3 0 時間
接来の進め方 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	授業コマ数	15コマ
達成目標 就職適性試験に出題される知識を身に付ける 教科書	授業概要	就職試験に出題される適性検査対策を行う
教科書	授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
特記	達成目標	就職適性試験に出題される知識を身に付ける
1	教科書	テキスト及び問題集
SPI対策問題集 非言語初級② SPI対策問題集 非言語初級③ SPI対策問題集 非言語初級③ Final Family	特記	
成績評価方法 就職適性試験100% 試験における得点で評価	授業計画	2 SPI対策問題集 非言語初級② 3 SPI対策問題集 非言語初級④ 5 SPI対策問題集 非言語初級⑤ 6 SPI対策問題集 言語② 7 SPI対策問題集 言語③ 9 SPI対策問題集 言語⑥ 10 SPI対策問題集 非言語② 12 SPI対策問題集 非言語③ 13 SPI対策問題集 非言語③ 14 SPI対策問題集 非言語⑥ 15 SPI対策問題集 非言語⑥ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
<u> </u>		<u>'</u>
備考		

タイトル	内容
授業科目	総合演習XIII(特別活動)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	企画・運営を実践し、集団行動に対する理解を深める
授業の進め方	集団で目標を設定し、生活・練習をすることにより人格の育成に繋げる
達成目標	学校行事を通じ、集団での運営方法の習得を目的とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 コミュニケーション実践①(ペア活動) 3 コミュニケーション実践②(ペア活動) 4 コミュニケーション実践③(ペア活動) 5 コミュニケーション実践⑥(グループ活動) 7 コミュニケーション実践⑥(グループ活動) 8 コミュニケーション実践⑥(グループ活動) 9 コミュニケーション実践⑩(グループ活動) 10 カループ討議①(個人研究) 11 グループ討議②(グループ研究) 12 グループ討議③(グループ研究) 14 グループ討議④(グループ研究) 15 グループ討議⑥(グループ発表) 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
成績評価方法	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
(試験実施方法)	
備考 	

タイトル	卢	內容
	システム設計演習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	7537	
松光 柳田	システム開発における企画立案、ユースケー	ース図の作成図
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作品	或、シーケンス図の作成
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを減	通じ、実践的知識の習得
達成目標	企画立案を行い、ユースケース図を完成/い	ロバストネス図の完成/シーケンス図の作成
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記		
授業計画	1文学2文学界研究3女学界研究5業界界研研究6アの完定782企企室9企企10企企11企企12企企13企企141516中中171818中19下18大19下10大11大12大13大14大15大16中17中18中19大10大10大11大12大13大14大15大16大17大18大19大10大 <td< th=""><th>39要求備140中間発表準備141中間発表準備343中間発表表準備445中間発表本ス分析のの実践47中がバストネネス分析548ロババストトネネス分析550ロババストトネネス分析551ア・備設計レレビュュー256予備設計レレビアーキテの実践57予備設計レレビアーキテの実践59デーケンスス図作成160シーケケンスス図作成261シーケケンスス図作成362シーケンスス図作成563シーケンスス図作成564シーケンスス図作成567評細細設計レビニュー271詳細設計レビニュー372評評細設計かか74評細設計かか74評細設計が</th></td<>	39要求備140中間発表準備141中間発表準備343中間発表表準備445中間発表本ス分析のの実践47中がバストネネス分析548ロババストトネネス分析550ロババストトネネス分析551ア・備設計レレビュュー256予備設計レレビアーキテの実践57予備設計レレビアーキテの実践59デーケンスス図作成160シーケケンスス図作成261シーケケンスス図作成362シーケンスス図作成563シーケンスス図作成564シーケンスス図作成567評細細設計レビニュー271詳細設計レビニュー372評評細設計かか74評細設計かか74評細設計が
成績評価方法	38 要求レビュー3	
(試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーシ	/ョンに対する有識者の講評
備考		

タイトル	内容		
	システム運用		
実務家教員授業			
学部・学科	情報処理科(1年制)		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	実習		
授業時間	2 1 0 時間		
授業コマ数	1050		
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践		
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得		
達成目標	ソースコードの完成、テストの実践		
教科書	履修済科目で使用した教科書複数		
特記			
授業計画	1 プログラミング(開発) 1 36 プログラミング(開発) 3 72 次よいの実践 72 次よいの実践 72 次よいの実践 73 プログラミング(開発) 3 74 プログラミング(開発) 3 74 75 75 75 75 75 75 75		
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	経理実務		
実務家教員授業			
学部・学科	情報処理科(1年制)		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	演習		
授業時間	6 0 時間		
 授業コマ数	307		
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類について の知識を習得するための講義		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する 基本的な理解ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム		
成績評価方法	確認テスト100% 確認テストにおける得点で評価		
(試験実施方法)			
備考			

タイトル	内容	
授業科目	経理実務実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
—————————————————————————————————————	選択必須	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3077	
3,0,10	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知	
授業概要	識を習得する講義	
	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
授業の進め方		
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる	
	年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	1 所得税の基礎知識①	
授業計画	 1 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 所得税の基礎知識⑤ 5 所得税の基礎知識⑥ 7 年末調整のしかた① 8 年末調整のしかた② 9 年末調整のしかた⑥ 11 年末調整のしかた⑥ 12 年末調整のしかた⑥ 13 法定調書の流れ⑥ 14 法定調書の流れ② 15 法定調書の流れ⑥ 16 法定調書の流れ⑥ 17 法定調書の流れ⑥ 18 法定調書の流れ⑥ 19 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 20 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 21 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 22 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 23 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 3 備人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 3 備人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 3 衛保険の概要及び会計処理① 3 労働保険の概要及び会計処理② 3 労働保険の概要及び会計処理③ 3 労働保険の概要及び会計処理③ 3 労働保険の概要及び会計処理④ 29 労働保険の概要及び会計処理⑤ 	
	20 兴敏归於《柳西耳》於入計加四〇	
成績評価方法	30 労働保険の概要及び会計処理⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	30 労働保険の概要及び会計処理⑥	

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 顧客満足② マーケティングの必要性① マーケティングの必要性② 情報収集と分析① 情報収集と分析② 流通チャネル① 流通チャネル② ブロモーション① ガロモーション② 財務知識① 財務知識② 事例研究② 事例研究② 事例研究② 11 11 18 19 20 21 22 23 23 24 25 26 27 28 29
成績評価方法	30
(試験実施方法) 備考	

タイトル	内容
授業科目	マーケティング研究
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必須
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3077
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 7 末店客分析② 8 来店客分析② 9 商品分析② 10 商品分析② 11 費用分析② 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 16 企画作成② 17 企画作成② 20 企画作成③ 20 企画作成③ 21 様々なマーケティング② 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究③ 24 プレ卒業研究③ 25 プレ卒業研究③ 27 ブレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑥
成績評価方法	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
(試験実施方法) 備考	
	<u> </u>

タイトル		内容
授業科目	マーケティング実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	180時間	
授業コマ数	9077	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対す	する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカン	ッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、	現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
	1 業界分析①	46 調査・検証②
	2 業界分析②	47 調査・検証③
	3 業界分析③ 4 業界分析④	48 調査・検証④ 49 調査・検証⑤
	5 情報収集①	50 調査・検証⑥
	6 情報収集②	51 調査・検証⑦
	7 情報収集③	52 調査・検証⑧
	8 情報収集④	53 調査・検証⑨
	9 情報収集⑤	54 調査・検証⑩
	10 情報収集⑥	55 企画案作成①
	11 情報収集⑦	56 企画案作成②
	12 情報収集⑧	57 企画案作成③
	13 店舗分析①	58 企画案作成④
	14 店舗分析②	59 企画案作成⑤
	15 店舗分析③	60 企画案作成⑥
	16 店舗分析④	61 企画案作成⑦
	17 店舗分析⑤	62 企画案作成⑧
	18 店舗分析⑥ 19 店舗分析⑦	63 企画案作成⑨ 64 企画案作成⑩
	20 店舗分析⑧	65 中間発表①
	21 店舗見学①	66 中間発表②
	22 店舗見学②	67 中間発表③
授業計画	23 店舗見学③	68 中間発表④
	24 店舗見学④	69 中間発表⑤
	25 店舗見学⑤	70 再検証①
	26 店舗見学⑥	71 再検証②
	27 店舗見学⑦	72 再検証③
	28 店舗見学⑧	73 再検証④
	29 課題抽出①	74 再検証⑤
	30 課題抽出②	75 再検証⑥
	31 課題抽出③ 32 課題抽出④	76 再検証⑦ 77 再検証⑧
	32 課題抽出④ 33 課題抽出⑤	77 再検証® 78 再検証⑨
	34 課題抽出⑥	79 再検証⑩
	35 課題抽出7	80 最終発表①
	36 課題抽出⑧	81 最終発表②
	37 仮説①	82 最終発表③
	38 仮説②	83 最終発表④
	39 仮説③	84 最終発表⑤
	40 仮説④	85 代表によるコンテストの実施①
	41 仮説⑤	86 代表によるコンテストの実施②
	42 仮説⑥	87 代表によるコンテストの実施③
	43 仮説⑦	88 代表によるコンテストの実施④
	44 仮説⑧	89 代表によるコンテストの実施⑤
成績評価方法	45 調査・検証①	90 代表によるコンテストの実施⑥
(試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢	、授業内レポートの完成度
	•	

タイトル	内容
授業科目	総合演習III(計算技能)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1527
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 電卓演習① 電卓演習③ 電卓演習③ 電卓演習③ 電卓演習⑤ 電卓演習⑥ 電卓演習⑥ 電卓演習® 電卓演習® 10 電卓演演習⑩ 11 電卓演演習⑩ 12 電卓演演習⑩ 13 電卓演演習⑫ 14 電認テスト 16 17 18 19 20 21 22 23 24 24 25 26 27 28 29
成績評価方法	30
(試験実施方法)	
備考	

タイトル	内容
授業科目	総合演習IV(ビジネス行動論)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	サービス・接遇の基本的知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	サービス接遇検定2級レベルのサービスと接遇の知識について理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 必要とされる条件
成績評価方法	効果測定100% 実技による効果測定で評価
(試験実施方法)	
備考	

タイトル	内容
授業科目	総合演習IX(接遇論マナー実践)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職の心構え 2 基本的な言葉違い 3 クッション言葉 4 状況に応じた言葉違い 5 笑顔・お辞儀 6 ロールプレイング① 7 基本的な電話応対 電話の掛け方① 10 電話の掛け方② 11 電話の掛け方③ 12 電話の掛け方④ 13 ロールプレイング① 14 ロールプレイング③ 15 ロールプレイング③ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
成績評価方法	効果測定100% 実技による効果測定で評価
(試験実施方法) 備考	
C. EUA	

タイトル	内容
授業科目	総合演習XI(官庁・企業研究)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	157
授業概要	就職試験で必要な業界研究や企業研究の方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	業界研究や企業研究が出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事・会社選びの基礎知識② 3 企業研究シート作成② 6 企業研究シート作成③ 6 企業研究シート作成④ 7 企業研究シート作成⑤ 8 志望動機作成② 10 志望動機作成③ 11 志望動機作成⑥ 12 オンターネットによるアクセス 14 電子メールによるアクセス 15 電話によるアクセス 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	総合演習XII(時事研究)
実務家教員授業	
学部・学科	情報処理科(1年制)
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 短婚葬祭マナー 9 舎マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑥ 12 時事研究・グループ討議⑥ 13 時事研究・グループ討議⑥ 14 発表① 15 発表② 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
成績評価方法	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
(試験実施方法) 備考	
	L

タイトル	内	
授業科目	WEBデザイニング II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	6077	
授業概要	IoTシステムの基本構造の理解 システム企	画書、データフローの作成
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを追	通じ、実践的知識の習得
達成目標	IoTシステムと従来の業務システムとの違い	を理解
教科書	IoTシステムのプロジェクトがわかる本 企画	1・開発から運用・保守まで
特記		
授業計画	 1 「IoTシステム」とはなにか 2 IoTシステムの活用モデルと活用ストーリー 3 IoT 標準化団体とそのアーキテクチャ 5 IoTの活用ストーリーをIoTの基本アーキテクチャに適用 6 フィールド層全体の構成、人感センサーとArudino UNOの接続(2) 8 人感センサーとArudino UNO の接続(3) 9 Bluetooth LE による通信(1) 10 Bluetooth LE による通信(2) 11 Bluetooth LE による通信(3) 12 演習(1) 13 IoTゲートウェイの設定(1) 14 IoTゲートウェイの設定(3) 16 IoTゲートウェイの設定(3) 16 IoTゲートウェイの設定(5) 18 IoTゲートウェイの設定(5) 18 IoTゲートウェイの設定(6) 19 演習(2) 20 クラウドの設定と利用法(1) 21 クラウドの設定と利用法(2) 22 クラウドの設定と利用法(3) 23 クラウドの設定と利用法(5) 25 クラウドの設定と利用法(6) 26 演習(3) 27 第1回効果測定 28 プラットフォーム層のシステム構成 29 開発環境の準備(1) 30 開発環境の準備(2) 	31 開発環境の準備(3) 32 「教師データ」用初期画像の収集(1) 33 「教師データ」用初期画像の収集(2) 34 「教師データ」用初期画像の収集(3) 35 演習(4) 36 アノテーションデータベースの作成(1) 37 アノテーションデータベースの作成(3) 39 アノテーションデータベースの作成(5) 41 アノテーションデータベースの作成(5) 41 アノテーションデータベースの作成(6) 42 演習(5) 43 書鳥検出モデルの作成(1) 44 書鳥検出モデルの作成(3) 45 書鳥検出モデルの作成(3) 46 書鳥検出モデルの作成(5) 48 書鳥検出モデルの作成(6) 49 演習(6) 50 書鳥検出システムのセットアップ(1) 51 書鳥検出システムのセットアップ(3) 52 書鳥検出システムのセットアップ(3) 53 オペレーション層の実装(1) 54 オペレーション層の実装(3) 55 オペレーション層の実装(5) 57 オペレーション層の実装(5) 58 オペレーション層の実装(6) 59 演習(7) 60 第2回効果測定
成績評価方法	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーシ	
(試験実施方法)	17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.1	7 4 7 G 13 674 EI 7 HIJHT
備考		

タイトル	内容	
授業科目	システム開発 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	オントロジーの理論の理解/オントロジーの構築	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	オントロジーの理論的基礎・構築の実際・次世代知識システムへの展開までを理解する	
教科書	知の科学 オントロジー工学の理論と実践	
特記		
授業計画	1 基礎理論 (1) 2 基礎理論 (2) 3 基礎理論 (2) 4 性質と量 (1) 性質と量 (2) 6 性質と量 (3) 7 表現のオントロジー (1) 8 表現のオントロジー (2) 9 表現のオントロジー (3) 10 オブジェクト, プロセス, そしてイベント (1) 11 オブジェクト, プロセス, そしてイベント (2) 12 オブジェクト, プロセス, そしてイベント (3) 13 オブジェクト, プロセス, そしてイベント (4) 14 ロール理論 (1) 15 ロール理論 (2) 16 ロール理論 (3) 17 ロール理論 (4) 18 和製上位オントロジーYAMATO (1) 19 和製上位オントロジーYAMATO (2) 20 和製上位オントロジーYAMATO (3) E療オントロジー (1) 22 医療オントロジー (3) 24 OMNIBUS オントロジー (1) 25 OMNIBUS オントロジー (1) 26 OMNIBUS オントロジー (2) 27 次世代知識システムへの展開 (1) 28 次世代知識システムへの展開 (2) 29 次世代知識システムへの展開 (3) 30 効果測定	
成績評価方法	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
授業科目	システム開発演習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	1 2 0 時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Python/Numpy/Scipy/Pandas/Matplotlib@	基礎の習得 機械学習の理解
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	pythonの基礎からデータ処理ならびに機械等	学習までの理解を深める
教科書	データサイエンティスト育成講座	
—————————————————————————————————————		
授業計画	1データサイエンティストの仕事2Pythonの基礎、データ分析で使うライブラリ3Numpyの基礎4Scipyの基礎5Pandasの基礎6Matplotlibの基礎7Python文法的補足(1)8総合演習(1)9統計解析の種類、データの読み込みと対話10記述統計11総合演習(2)12確率と統計を学ぶ準備、確率13確率が分布14統計的推定17統計的検定18数学的補足19総合演習(3)20第1回効果測定21Pythonによる科学計算・概要と事前準備22Numpyを使った計算の応用23Scipyを使った計算の応用24総合演習(4)25Pandasを使ったデータ加工処理・概要と事前準備26Pandasの基本的なデータ操作(1)27Pandasの基本的なデータ操作(2)28Python文法的補足(2)29欠損データと異常値の取り扱いの基礎	31総合演習(5)32データの可視化、データ可視化の基礎33応用:金融データの可視化34応用:分析結果の見せ方を考える35数学的補足(2)36総合演習(6)37第2回効果測定38機械回常40ロジスティック回帰41正則化項のある回帰:ラッソ回帰、リッジ回帰42決定木43k-NN (k近傍)44サポートベクターマシン45数学的本程と(3)46Python文法的補足(3)47総合演習(6)48第3回効果測定49教師無しよりの対析とアソシエーションルール51主成分分析52マーケットバスケット分析とアソシエーションルール53モデルの子の計と制度を上げる方法54モデル評価とパフォーマンスチューニング55モデル評価とパフォーマンスチューニング55モデル評価とパフォーマンスチューニング55大学の対域と(4)58Python文法的補足(4)59総合演習(7)
成績評価方法	30 時系列データの取り扱いの基礎 定期試験100% 応用的な知識を測定する試	60 第 4 回効果測定 監で評価
(試験実施方法)	/C※打成級100 /0 /心/円印/ 4 /川畝 を 例 た 9 合 i八	····································
備考		

タイトル	内	
授業科目	言語理論Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	9 0 時間	
授業コマ数	4577	
授業概要	Pythonを利用した強化学習の実践	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	強化学習、ならびにディープラーニングを総	且み合わせた深層強化学習について理解する
教科書	つくりながら学ぶ深層強化学習	
特記		
授業計画	 1 倒立振子課題「CartPole」概要(1) 2 倒立振子課題「CartPole」概要(2) 3 多変数・連続値で示される状態の表形式表現(1) 4 多変数・連続値で示される状態の表形式表現(2) 5 Q学習の実装(1) 6 Q学習の実装(2) 7 Q学習の実装(3) 8 演習(1) 9 演習(2) 10 演習(3) 11 ニューラルネットワークとディーブラーニングの歴史 12 ディープラーニングの計算手法(1) 13 ディープラーニングの計算手法(2) 14 Pytorchで手書き数字画像の分類課題MNISTを実装(1) 15 Pytorchで手書き数字画像の分類課題MNISTを実装(3) 17 Pytorchで手書き数字画像の分類課題MNISTを実装(3) 17 Pytorchで手書き数字画像の分類課題MNISTを実装(4) 18 Pytorchで手書き数字画像の分類課題MNISTを実装(5) 19 演習(4) 20 演習(5) 21 演習(6) 22 第1回効果測定 23 深層強化学習(DQN)概要 24 DQNの実装に必要な4つの工夫点 25 DQNを実装(1) 26 DQNを実装(3) 27 DQNを実装(3) 28 DQNを実装(4) 29 DQNを実装(5) 	31 深層強化学習のアルゴリズムマップ 32 DDQNの実装(1) 33 DDQNの実装(2) 34 DDQNの実装(3) 35 Prioritized Experience Replayの実装(1) 36 Prioritized Experience Replayの実装(2) 37 Prioritized Experience Replayの実装(3) 38 A2Cの実装(1) 39 A2Cの実装(2) 40 A2Cの実装(3) 41 AWSのGPU環境でブロック崩しを実装(1) 42 AWSのGPU環境でブロック崩しを実装(1) 43 AWSのGPU環境でブロック崩しを実装(1) 44 演習(7) 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法	30 DQNを実装(6) 定期試験100% 応用的な知識を測定する試	
(試験実施方法)	プログローグ プロロログ A MIRK で (株) た プログロログ (大) グログロログ (大) グログロログ (大) グログログ (大) グログログログ (大) グログログログ (大) グログログログ (大) グログログログ (大) グログログログ (大) グログログログログログログログログログログログログログログログログログログロ	ед∧ ∨ и1 IIII
備考		

授業科目 実務家教員授業 学部・学科 履修年次 開講学期 科目区分 授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書 特記	言語理論Ⅲ	
実務家教員授業 学部・学科 履修年次 開講学期 科目区分 授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	情報処理科(1年制) 1年次 前期 選択 実習 120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
履修年次 開講学期 科目区分 授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	1年次 前期 選択 実習 120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
開講学期 科目区分 授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	前期 選択 実習 120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
科目区分 授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	選択 実習 120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
授業方法 授業時間 授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	実習 120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
授業時間 授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	120時間 60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
授業コマ数 授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	60コマ 機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎 テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
授業概要 授業の進め方 達成目標 教科書	機械学習を利用したWebサイトの開発の基礎テキストによる講義と実践的な実習サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
授業の進め方 達成目標 教科書	テキストによる講義と実践的な実習 サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	ルを作成からシステムの洗練までを理解する
達成目標教科書	サンプルプログラムを利用し、機械学習モデ 試して学ぶ機械学習入門	
教科書	試して学ぶ機械学習入門	
		21 역 1 同効用測字
特記	1 Amazon Web Services(AWS)によるクラウド環境のセットアップ	21 역 1 同効用測字
1.1 HC	1 Amazon Web Services(AWS)によるクラウド環境のセットアップ	21 第 1 同効用測空
授業計画	2 Amazon SageMakerによる開発・実行環境 3 Jupyter Labを使った文芸的プロラグラミング(1) 4 Jupyter Labを使った文芸的プロラグラミング(2) 5 演習(1) 6 演習(2) 7 本の著者を予測するモデルを作る 8 環境の準備 9 対象とするデータセットと整形 10 実際にモデルを作成する 11 モデルを評価する 12 演習(3) 13 演習(4)	32 機械学習とユーザログ 33 ユーザの反応を踏まえたサービスの開発サイクルを設計する 34 作成したWebサービス上でユーザログを取得できるようにする(1) 35 作成したWebサービス上でユーザログを取得できるようにする(2) 36 作成したWebサービス上でユーザログを取得できるようにする(3) 37 作成したWebサービス上でユーザログを取得できるようにする(4) 38 演習 (9) 39 演習 (10) 40 推薦システムとは何か? 41 ベースとなるWebシステムの構築(1) 42 ベースとなるWebシステムの構築(2) 43 Webサービスの推薦サービスの基本の実装を行う(1) 44 Webサービスの推薦サービスの基本の実装を行う(2) 45 Webサービスの推薦サービスの基本の実装を行う(3) 46 推薦サービスのためのロジックを実装していく(1) 47 推薦サービスのためのロジックを実装していく(2)
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	18 演習 (5) 19 演習 (6) 20 クローリングとスクレイピングに関して 21 クローリングとスクレイピング環境の構築 22 クローリングとスクレイピングを行ってみる 23 Scrapy入門 24 Scrapyでクローリング&スクレイピング (1) 25 Scrapyでクローリング&スクレイピング (2) 26 MongoDBにデータを格納する (1) 27 MongoDBにデータを格納する (2) 28 クローリングの注意事項 29 演習 (7) 30 演習 (8) 定期試験100% 応用的な知識を測定する試	51機械学習手法を利用したロジックの実装(3)52演習(11)53演習(12)54演習(13)55Lambdaの概要56Lambdaで動作するモデルを作る57Serverless Frameworkによるデプロイ58演習(14)59演習(15)60第2回効果測定

タイトル	内容	
授業科目	販売事務管理	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理② 5 請求書の作成と代金回収管理③ 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理② 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	
成績評価方法	で	
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内容	
授業科目	マナー接遇基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	307	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 学校と職場の違い① 学校と職場の違い③	
成績評価方法	効果測定100% 実技による効果測定	
(試験実施方法) 備考		
·		

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3077	
授業概要	Wordを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文書の作成と管理② 文書の作成と管理③ 文章の作成と管理③ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理④ 文章の作成と管理⑩ 文章の作成と管理⑩ 工一般的なビジネス文書の作成② 一般的なビジネス文書の作成④ 一般的なビジネス文書の作成④ 一般的なビジネス文書の作成⑤ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ 一般的なビジネス文書の作成⑥ つがなビジネス文書の作成⑥ つがなビジネス文書の作成⑥ つがなビジネス文書の作成⑥ つがなビジネス文書の作成⑥ つがなビジネス文書の作成⑥ シンプルなレボートや報告書の作成② シンプルなレボートや報告書の作成⑥ シンプルなレボートや報告書の作成⑥	
成績評価方法	確認テスト100% 確認テストにおける得点で評価	
(試験実施方法) 備考		
	<u> </u>	

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3077	
授業概要	Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行	
西米の光ンナ	うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る なずぬくとごとし、表のだまれた効果的に使用し目覚えの点と答似にはなけることだっ	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることがで きる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 表作成の基本操作① 表作成の基本操作② 表作成の基本操作③ 表作成の基本操作③ 表作成の基本操作⑥ 7 見やすく使いやすい表にする編集操作① 見やすく使いやすい表にする編集操作② 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥ 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥ え 画像、図形を使った文書の作成① 表、画像、図形を使った文書の作成③ 表、画像、図形を使った文書の作成③ 表、画像、図形を使った文書の作成⑥ 表、画像、図形を使った文書の作成⑥ 表、画像、図形を使った文書の作成⑥ 数式・関数を活用した集計表の作成⑥ 数式・関数を活用した集計表の作成⑥ 数式・関数を活用した集計表の作成② 数式・関数を活用した集計表の作成② 数式・関数を活用した集計表の作成② 数式・同数を活用した集計表の作成③ 7 ラフの上、同の集計② フークシート間の集計② フークシート間の集計③ ブラフの基本② ブラフの基本② がラフの基本② がラフの基本② お は無集① 目的に応じたグラフの作成と編集②	
成績評価方法	30 目的に応じたグラフの作成と編集③	
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内容	
授業科目		
実務家教員授業	PC実習応用	
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	15コマ	
	Word:応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得の	
校条恤出	ための実習	
授業概要	Excel:複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うス	
	キル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
	Word:アウトライン機能や校閲機能を用い効率的に正確なビジネス文章を作成することができ	
達成目標	ठ	
Z-190 E 120	Excel: ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を	
	使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	1 文書の作成と管理①	
授業計画	2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化② マクロによる作業の自動化③ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	
成績評価方法	30	
(試験実施方法) 備考		
	<u>l</u>	

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	時事研究から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成① 14 話し方 15 発表 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	
成績評価方法	- '	
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内容	
授業科目	税務会計実務	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	税務の知識と技術を身につけ、税務の意義や制度についての理解を深める	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	税務の意義や制度を深く理解し、申告書の作成及び税務情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 消費稅法② 消費稅法③ 消費稅法⑤ 清費稅法⑥ 行法人稅法① 8 法人稅法③ 9 法人稅法③ 10 法人稅法⑥ 11 法人稅法⑥ 12 法人稅法⑥ 13 法人稅法⑥ 15 法人稅法⑤ 16 17 18 19 20 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	
成績評価方法	確認テスト100% 確認テストにおける得点で評価	
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内	J容
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	9 0 時間	
授業コマ数	4577	
授業概要	ビジネス電話対応などの全般に関するルール	レを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識と ス	スキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得	事する
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 接遇マナーとは② 3 接遇マナーとは③ 4 演習(応元のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	31演習(ロールプレイング)32説明内容に関する知識②34商品説明の準備①35商品説明の準備②36好感の持たれる商品説明②38演習(ロールプレイング)39効果測定40カレームの応対方法①42クレームの応対方法②44電話でのクレーム応対①45店内でのクレーム応対①464748495051525354555657585960
成績評価方法	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
(試験実施方法)	, , , , , , , , , , , , , , , , ,	
備考		

タイトル	内容	
授業科目	マナー接遇応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	応対に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図 る	
達成目標	応対に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接遇・接客マナーとは② 接遇・接客マナーとは③ 接遇・接客の心得② 接遇・接客の心得② 接遇・接客の心得② 接遇・接客の心理② お客様の心理② お客様の心理② お客様の心理③ 10 受付・店内接客の基本① 12 受付・店内接客の基本② 12 受付・店内接客の基本③ 13 受付・店内接客の演習② 電話マナー① 11 電話・マナー② 電話・マナー④ 電話・マナー④ 20 電話・マナー④ 20 電話・マナー⑥ 21 演習② 23 演習③ 24 演習④ 25 総合演習③ 28 効果測定② 30 対果測定② 30 対象	
成績評価方法	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
(試験実施方法) 備考		
MIT A		

タイトル	内容	
授業科目	財務分析	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3077	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解 を深める	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	 1 外貨建会計① 3 外貨建会計② 4 外貨建会計③ 6 リース取引② 8 リース取引② 9 リース取引③ 9 リース取引③ 10 リース取引⑤ 11 キャッシュ・フロー計算書② 13 キャッシュ・フロー計算書③ 14 キャッシュ・フロー計算書③ 15 キャッシュ・フロー計算書⑥ 16 キャッシュ・フロー計算書⑥ 17 キャッシュ・フロー計算書⑥ 18 税効果会計① 19 税効果会計③ 20 税効果会計③ 21 税効果会計③ 22 税効果会計⑥ 23 税効果会計⑥ 24 税効果会計⑦ 25 退職給付会計① 26 退職給付会計③ 27 退職給付会計③ 28 退職給付会計③ 29 退職給付会計⑥ 30 退職給付会計⑥ 	
成績評価方法	確認テスト100% 確認テストにおける得点で評価	
(試験実施方法) 備考		
VHI ~ ¬¬¬		

タイトル	内容	
授業科目	財務会計ソフト実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報処理科(1年制)	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身に つける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができ る	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 振替伝票の入力操作 2 人出金伝票の入力操作 4 売掛帳・買掛帳の入力操作 5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作 糖定科目の追加登録 付箋機能 決算手続きの操作② 決算手続きの操作③ 決算手続きの操作④ 決算書の作成① 決算書の作成② 決算書の作成③ 3 翌期繰越処理 16 17 18 19 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 確認テストにおける得点で評価	
(武顯美施万法) 備考		